

# 幡谷明講話集1

# 浄土文類聚鈔講義

はたや

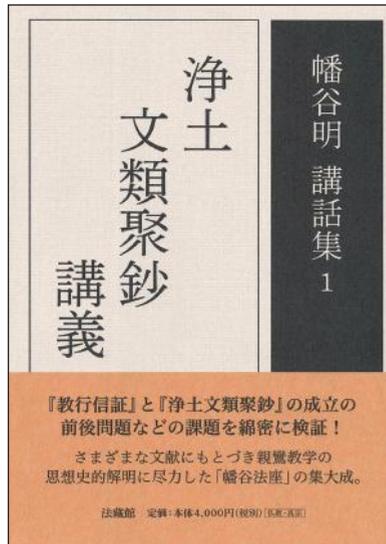
あきら

幡谷

明著

▼A5判・上製カバー・552頁・定価四、四〇〇円

2024年12月刊行



『教行信証』と『浄土文類聚鈔』の成立の前後問題などの課題を綿密に検証。親鸞教学の思想的解明に尽力した「幡谷法座」の集大成。

## 【目次】

巻頭言（京都光華女子大学元学長 一郷正道）

第一章 『浄土文類聚鈔』を読む前に

第一節 『浄土文類聚鈔』の位置づけ／第二節 『教行信証大意』のこと／第三節 法然上人の教えを聞いて／その他

第二章 『文類聚鈔』総論

第一節 『文類聚鈔』の構成／第二節 『教行信証総序』との対応／第三節 浄土三部経の要義を明らかにする

第三章 序文について

第一節 『浄土文類聚鈔』の序文を読む／第二節 『教行信証』と『文類聚鈔』の同異／第三節 『教行信証』の構成／その他

第四章 真実教について

第一節 『大無量寿経』が真実教である／第二節 『大無量寿経』の「宗」と「体」／第三節 『文類聚鈔』の「教」と『教行信証』の「教」

第五章 行章を読む

第一節 はじめに／第二節 仏の本願力回向が菩薩の本願力回向となる／第三節 無碍光如来の名／その他

第六章 信章を読む

第一節 「行中摂信」ということの意味／第二節 第十八願／第三節 難信と獲信／その他

第七章 証章を読む

第一節 「証」と救いの「あかし」／第二節 正定聚に住し必ず滅度に至るのは誰か／第三節 『教行信証』二部作／その他

第八章 還相回向について

第一節 あえて仏であることを放棄する存在／第二節 第二十二願とその成就／第三節 還相回向がなぜ違うところで説かれるのか／その他

第九章 問答要義

第一節 『文類聚鈔』の基本／第二節 始まりの字訓釈／第三節 字訓釈／その他

第十章 浄土真宗のすべてをおさめられた略本の結び

第一節 凡夫即生／第二節 諸仏出世本懐の本意

あとがき（第一巻編集担当 江林智静）

## ◆著者略歴

幡谷 明（はたや あきら）

一九二八年、島根県浜田市真宗大谷派顕正寺に生まれる。一九五一年、大谷大学文学部卒業。一九五五年、大谷大学研究科修士。一九六二年、大谷大学専任講師に就任。一九七二年、大谷大学教授に就任。一九八〇年、安居次講を務める。一九九二年、文学博士。安居本講を務める。一九九四年、大谷大学名誉教授に就任。二〇一二年、真宗大谷派講師・重理院重理に就任。二〇二二年、逝去（満九三歳）。

注文書	
(書店印)	
様	冊
ご担当	幡谷 明著
法藏館	
定価四、四〇〇円	
幡谷明講話集1	
浄土文類聚鈔講義	
ISBN: 978-4-8318-3453-9 C3315	
お住所	お名前
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・真宗